

| 委員名 | 修正箇所 | 修正内容 | 対応方針 |
|-----|-----------------|---|---|
| 三好 | P 1-3 | 写真のタイトルが整備前 (R2) 整備後 (R4) となっていますが、正しいでしょうか | 令和3年度の事業の成果を分かりやすく説明するため、事業実施前と実施後の写真を載せています。そのことが分かるようにキャプションを修正します。 |
| | P 3-3 | 高標高域人工林の整備となっていますが、高標高域人工林の土壤保全対策ではないでしょうか | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| 太幡 | 資料編 | 事業により間伐が行われ、下草が増えると多様な生物が確認できるようになります。生産者としての植物の植生変化、消費者としての動物種の変化、土壤の分解者種の変化を捕らえた視点が欲しいと思いました。なぜなら、水質の改善に微生物の菌類や細菌類の活動が直結するからです。高校生物科教諭で構成されていた神奈川県生物教育研究会で、昭和50年代に森林の荒廃と土壤生物(菌類の種類)の変化について調べた記憶があります。間伐で明るくなった土壤の下草の根元の苔や地衣類の下に居る菌類細菌類の活動が地表水の浄化に寄与するからです。県民に説明するときに、義務教育の理科で身につけている常識を基盤として、科学的な根拠で説明をすれば納得を得られると考えます。 | 微生物についてはデータ収集を行っておりません。 |
| 宮下 | P 1-2 | 6行目から7行目、確保、整備を進めていただきたい。→水源林の確保、整備 | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 2-3 | 右下写真の説明内容 (写真は蛭ヶ岳で設置後24年経過した植生保護柵内における森林再生の様子) → (写真は蛭ヶ岳で植生保護柵設置後24年経過した柵内における森林再生の様子) | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 2-5 | 27から28行目 水源税が徴収されていることもその水源税が→もを読点に | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 3-3 | 植生保護柵を組み合わせて→植生保護柵を組み合わせて | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 3-4 | 土壤浸食が深刻化している地域で施工された土壤保全対策の効果について、・・・・・・、検証する。→土壤保全対策が深刻化している地域6地区・・・・・・で植生調査等を行い、施工された土壤保全対策の効果について検証する。 | 土壤浸食が深刻化している地域の中で6地区を選定しているため、ご指摘の修正を行うと意味が変わってしまうため、現行のままとします。 |
| | P 3-4 | 8行目 スズタケ増加し、10行目優占度が高くなった。→字句の修正と追加 | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 3-6 | 【日程】【 が赤字のまま | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 5-3 | 写真の説明で施工年が欲しい。 | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 6-2 | 写真の説明で施工年が欲しい。 | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 9-2 | 1 事業推進状況の表 区分 間伐 広葉樹の植栽→間伐を荒廃森林整備(間伐)、広葉樹の植栽を広葉樹林整備(広葉樹の植栽)にする。 | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 9-2 | 写真の説明で施工年又は撮影年が欲しい。 | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 10-3 | 森林のモニタリング調査(生態系効果把握調査)→森林生態系効果把握調査 | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | 概要版 | 事業進捗状況の表で、⑧の(1)及び(2)、⑨の(1)及び(2)の事業規模の記載がない。 | ご指摘について、点検結果報告書概要版に反映させます。 |
| | 概要版 | 事業進捗状況の表で、⑨の(3)で記載の累計進捗率0.48mg/lがどこからきた値かわからない。→実績版の0-10ページの進捗率に0.48mg/lを記載したほうがよい。 | ご指摘については、点検結果報告書に既に反映しています。 |
| | 概要版 | 令和3年度事業費の構成の円グラフで、説明用の字体及び大きさなどを左上の図と同様にしたほうがきれいだと統一がとれる。また、記載位置やずれがあり見づらい。 | ご指摘について、点検結果報告書概要版に反映させます。 |
| | 概要版 | 文中の記載で、「など」と「等」の表記の混在が見られる。 | ご指摘について、点検結果報告書概要版に反映させます。 |
| 岡田 | P 0-7 | 左下の対象地域のイラスト。小仏山地 丹沢大山地域 箱根山地を示す破線の色が汎用では茶色だが、イラストでは白色で異なる。 | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 0-9 P 0-10 | 新たな財源を活用する事業費の計 と 個人県民税超過課税相当額 の違い | 事業費と水源環境保全税額が必ずしも一致しないため、分けて記載しております。 |
| | P 1-1 | 【事業内容】これまでの水源分収林、水源協定林、買取り、協力協約及び長期受委託の5つの手法に加えて、森林の状況に応じた新たな確保手法(短期水源林整備協定、環境保全分収林)を導入する。→これまでの水源協定林、買取り、水源分収林、協力協約及び長期受委託の5つの手法に加えて、森林の状況に応じた新たな確保手法として環境保全分収林を導入する。また、水源協定林について、短期水源林整備協定の制度を導入した。 | ご指摘について、語順については、反映させましたが、短期水源林整備協定、環境保全分収林については同時期の導入のため、元の文章を活かしました。 |
| | P 1-3 | 事業開始から令和3年度までの新規就業者総数136名に対し、3年後に職者は100名→H30年度就業者 | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 2-3 | 平成28年の写真に比べて、令和3年の写真は植被率が増加しているように見えない画像撮影日がほしい | 画像撮影日については、他の事業写真との兼ね合いから行いません。 |
| | P 4-2 | 第2期中に県森林組合連合会が原木市場を拡張する等して→原木市場を拡張したことで | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | P 5-3 | 地域水源林の整備に当たって、各自自治体を使いやすい支援をするべきとは思いますが、事業の目的が→地域水源林の整備に当たって、各自自治体を使いやすい支援をするべきとは思(または、支援をすべきだ)が、事業の目的が | ご指摘箇所は、事業モニターの感想であり、明らかな間違い以外の訂正は行っていません。 |
| | P 6-2 | 〇〇年度実績 = (新規)ならば、3段の必要はないように思います。 〇〇年度実績 (継続)の2段でいいと思う。 | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | 資料編 | 「地下水位と降水量」のグラフ秦野市・座間市・真鶴市の3つのグラフの体裁を同じに | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |
| | 資料編 | 「水質」のグラフ秦野市・中井町・座間市の3つのグラフの体裁をできるだけ同じに | ご指摘について、点検結果報告書に反映させます。 |